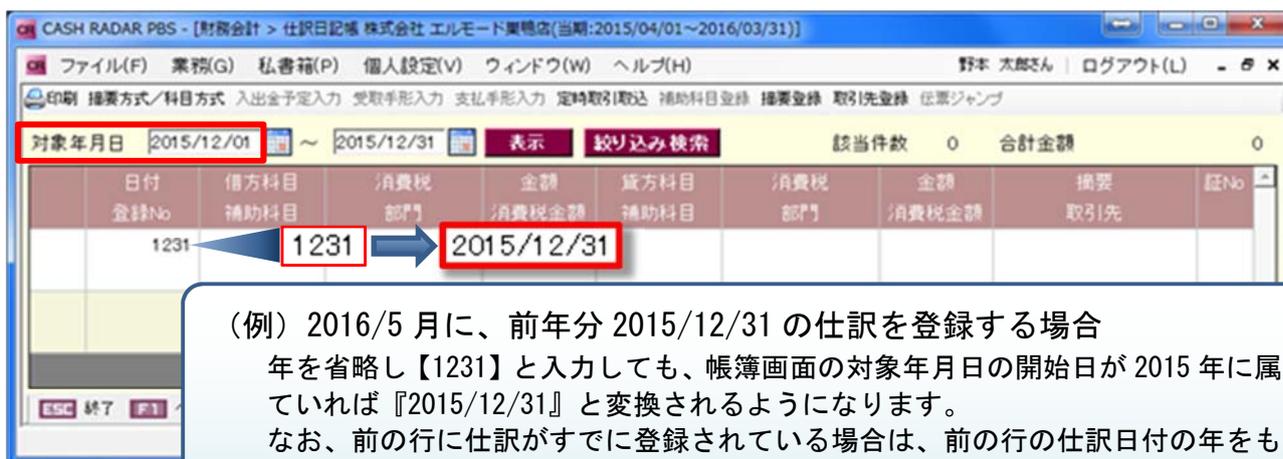


会計帳簿入力「仕訳日付」の変換方法改善

仕訳日記帳など帳簿入力メニューにおける「仕訳日付」の変換方法を改善いたします。

リリース日：2016年6月8日(水)



(例) 2016/5月に、前年分2015/12/31の仕訳を登録する場合

年を省略し【1231】と入力しても、帳簿画面の対象年月日の開始日が2015年に属していれば『2015/12/31』と変換されるようになります。

なお、前の行に仕訳がすでに登録されている場合は、前の行の仕訳日付の年をもとに変換されます。

※従来は「システム日付」の属する年に変換されていました。(図例の場合は『2016/12/31』に変換)

仕訳日付の変換ルール

◆変換例(カッコ内)にかかる条件

システム日付：2016/5/1

当期事業年度：2015/4/1～2016/3/31 画面ヘッダーの対象年月日：2015/12/1～2015/12/31

前行の仕訳日付(2行目以降の仕訳の場合)：2015/12/31

「日付」欄の入力文字	変換される年・月		(参考) 従前の変換	
	1行目の仕訳	2行目以降の仕訳	1行目	2行目以降
年+月+日 (例 20151231)	入力したとおり (2015/12/31)		入力したとおり (2015/12/31)	
月+日 (例 1231)	画面ヘッダー「対象年月日」の開始日の年 (2015/12/31)	前行の仕訳日付の年 (2015/12/31)	システム日付の年 (2016/12/31)	
日 (例 31)	画面ヘッダー「対象年月日」の開始日の年・月 (2015/12/31)	前行の仕訳日付の年・月 (2015/12/31)	事業年度開始日の年・月 (空欄 ※)	前行の仕訳日付の年・月 (2015/12/31)

※当期事業年度開始日である4月には「31日」がないため

会計帳簿入力「仕訳日付」の変換方法改善

会計伝票

仕訳日付の変換ルール

◆変換例（カッコ内）にかかる条件

システム日付：2016/5/1

当期事業年度：2015/4/1～2016/3/31

直近の伝票日付（2本目以降の伝票の場合）：2015/12/31

「日付」欄の 入力文字	変換される年・月		（参考）従前の変換	
	1本目の伝票	2本目以降の伝票	1本目	2本目以降
年+月+日 (例 20151231)	入力したとおり (2015/12/31)		入力したとおり (2015/12/31)	
月+日 (例 1231)	事業年度開始日の年 (2015/12/31)	直近の伝票日付の年 (2015/12/31)	システム日付の年 (2016/12/31)	
日 (例 31)	事業年度開始日の年・月 (エラー ※)	直近の伝票日付の年・月 (2015/12/31)	システム日付の年・月 (2016/12/31)	

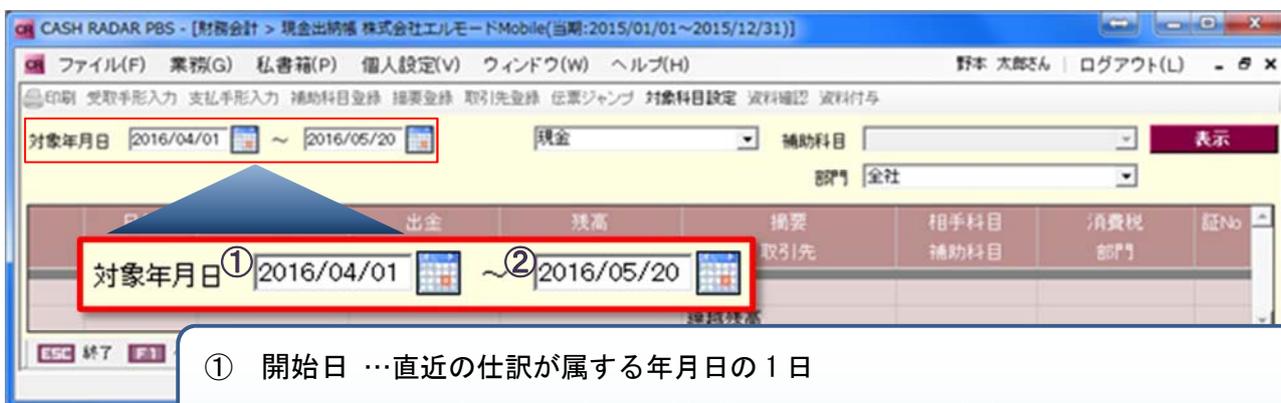
※当期事業年度開始日である4月には「31日」がないため

包括対応 現金出納帳・銀行帳「対象年月日」の初期表示仕様改善

現金出納帳

銀行帳

<例>直近の入力済み仕訳の日付：2016/4/30、現在のシステム日付：2016/5/20の場合



① 開始日 …直近の仕訳が属する年月日の1日

(従来は直近の仕訳日。例の場合は2016/4/30と初期表示されていた)

② 終了日 …現在のシステム日付

(従来どおり)

◆ [総勘定元帳・補助元帳] と同じ動作になります。